

# 國學院大學 北海道短期大学部 学報

発行所  
國學院大學  
北海道短期大学部  
〒073-0014  
北海道滝川市  
文京町三丁目1番1号  
TEL  
0125-23-4111(代)

## 一日一日を、一年中の最善の日に

國學院大學北海道短期大学部 学長 田村 弘

### 挑戦せずして成功なし

私の書齋に、書家で恩師の畑中皇舟先生の色紙が飾ってあります。卒業以来半世紀にわたって、私はこの言葉に励まされてきました。

「その日 その日が一年中の「最善の日なり」アメリカの思想家・エマーソンの言葉だと、その後知りました。人生に一日たりとも同じ日はありません。嬉しい日もありますが、悲しい日も、悔しい日も、辛い日も、腹立たしい日もあります。



模擬授業 教員を目指して

人生を「最善の日」とひとつくりにできるものではありません。それでもなお、肚をくくって最

善の日といい得る人生をおくりたいものです。

そのためには、「こうなりたいという自分」に成るために行動することです。

挑戦した者にのみ成功のチャンスが与えられるのです。

行動を起こしても理解も評価されず、うまくゆかないこともあ

るでしょう。それでもひたむきに励み続けられ、その努力を応援してくれる人が必ず現れるものです。挑戦せずして成功はあり得ません。

### 逆境は好機なり

「成功とは失敗しない事」ではありません。成功するまで挑戦し続ける精神力と粘り強さが成功に結びつきます。全員が成功者となるチャンスを等しく持ち合わせているのです。

者は強い決意を持っていました。



ありす祭 野球部パフォーマンス

逆境をチャンスと捉えた戦略性、加えて國學院大學と滝川市が培ったゆるぎない信頼関係が、困難といわれた本学の開学を実現してきました。時の文部大臣が「大学立地のひとつのモデル」と

激賞した短期大学なのです。本学は、そのような遺伝子を持つ短期大学です。諸君は、このキャンパスで人生を如何に生きるべきかを考え、その基礎力を磨いてきました。信頼の構築、逆境をチャンスと考えて行動する力などの伝統を諸君が受け継ぎ、そのことに誇りを持って立派になっていくことに喜びを感じます。

人生に困難はつきものです。逆境は、己を磨く好機です。困難を恐れることなくチャンスととらえ、人生を生き抜いてください。



スタディフェスタ 星を見よう!

間もなく御代替わりを迎え、元号も変わって新たな時代が始まります。その時代の主役は諸君であることを意識して、自己の研鑽に一層励んでください。

### 新入生の皆様に

#### 志高く「優れた人物」に

國學院大學は、我国の歴史・文化・宗教の分野において世界有数の研究活動を行っている大学と評価されています。北海道短期大学部は、その学統を受け継ぐ短期大学です。

現代社会は、価値観が多様化・複雑化してきています。しかも国際化の進展は、日本の価値観だけではなく世界的な視点で求められています。その価値判断の基盤として、「国学」（日本学）を学ぶことは重要です。日本の文化は、世界の中でも独

自の文化圏を形成しているといえます。

自然と共に生きる思想、柔軟で寛容な和の精神、常に伝統の中に新しさを見つけ出す考え、虫の音を音楽と捉える感受性、惻隱（そくいん）の情、忍耐、礼節等々。日本精神は混迷する世界を救うために極めて有効であると語る識者は多いのです。

日本の歴史を学び、日本の文学や文化に触れ、日本の国柄を学んで欲しいと願っています。本学で学ぶ意味、それは、我が国や自らの住む地域に自信と誇りを持って、世界に翔く基礎力を磨くことにあります。



オープンキャンパス風景

「富を手段」としたギリシャと「富を目的」としたカルタゴとは、決定的な違いを生んだのです。これからの日本は、心して歴史に学ばなければなりません。

日本は、現存する国では世界で最古の国家です。この国は間もなく諸君に手渡されます。國學院大學の建学の精神である「國體の講明」と「徳性の涵養」を常に心に刻んで、我が国の基礎を強固にし、諸君の人生の自分をつくして欲しいと願っています。

これからの二年間は、諸君の人生にとって大変重要な時期です。無為に過ごせばその損失は大きいのです。知識と見識を持ち、態度も立派な「優れた人物」となるよう、志を高く掲げて励みましよう。

### 「國體の講明」「徳性の涵養」

二千年以上も前に地中海で繁



体育館で“たのしい発表会”

国文学科



助教 渡辺 開 紀

学生生活に失敗はつきものです。短大部での二年間、研究室や四〇二の大教室で、みなさんは多かれ少なかれ恥をかいてきたことでしょうか。『百人一首』で満点を取る！と勇んでみたものの初回の小テストであえなく頓挫してしまっただけ。自信を持って臨んだ発表に全く反応がな

かった。泣きそうなほど辛い。そして、それを思い出すのは、もっと辛い。そうかもしれない。しかし、多くの失敗を重ね、挫折を乗り越え、後にそのときのことを振り返るとき、一あの困難があったから、いまの私がある」と人間は前向きに思えるものです。月並みな言い方になりますが、つらい体験があるからこそ短大部ならではの良き思い出もあるわけで、その両方があるから、人生は苦しく、また、楽しい。

積極果敢に挑戦した分だけ、にがい失敗が伴います。ですが、ミスに萎縮したり、傍観を決めたに、入念に準備を怠らぬ。と述べています。失敗は常に飛躍の可能性を秘めています。みなさんの今後の活躍を祈念いたします。

飛翔

第三十五回卒業  
第十八回修了

おめでとーいびぎいします

総合教養学科



准教授 舛井 雄 一

二年間はいかがでしたか、語れる二年間になりましたか？

「自分の言葉」で人に自信を持って伝えることができる生活を送ることができれば、この二年間は君たちの人生においてとても強力な武器となるでしょう。もし、まだ上手に伝えられない言葉が見つかっていない

皆さんは内省(リフレクション)をしてみませんか。学習理論の中に「経験学習」という分野があります。そこで重要視されるのが、何らかの経験の後に自ら振り返り、その経験が自分にと

う、どういう意味があったのかについて考える「内省(リフレクション)」です。卒業式を迎えた今はそれにぴったりのタイミングです。ものすごい体験である必要はありません。むしろ日常の中にこそ皆さんにとっての意味があるのではないのでしょうか。

卒業生、そして御父母の皆様卒業おめでとうございます。入学直後のガイダンスで「語れる二年間にしよう」という話をしましたのを覚えていますか。それは授業中にも口酸っぱく伝え続けてきたつもりです。この

皆さんは内省(リフレクション)をしてみませんか。学習理論の中に「経験学習」という分野があります。そこで重要視されるのが、何らかの経験の後に自ら振り返り、その経験が自分にと

う、どういう意味があったのかについて考える「内省(リフレクション)」です。卒業式を迎えた今はそれにぴったりのタイミングです。ものすごい体験である必要はありません。むしろ日常の中にこそ皆さんにとっての意味があるのではないのでしょうか。

幼児・児童教育学科



教授 黒阪 陽 一

ご卒業を心よりお祝い申し上げます。

短明大学部は入学した年一年と、卒業の年一年の二年間、これを短いとるか長いと感じるかはその人の過ごし方と関係が、とにかく密度の高い二年間であったことでしょうか。卒業や資格のための単位を軽々と揃えられた人、ギリギリの努力でやっと間に合った人など様々であったようですが、今日こうして共に卒業式を迎えられたことは何よりもうれしい事で、また改めておめでとーを申し上げます。

皆さんにとってこれが最後の学校生活、明日からは社会人としての第一歩を同じスタートラインから踏み出すことになりま

「社会はいままでのようにあまくはないぞ！」などと言うつもりはありませんが、様々な困難が待ち構えているのは確かなことでしょうが、皆さんの若い力で、ひとつひとつ乗り越えていけるよう願っています。たいていお役に立てぬ教員でしたが、皆さんと過ごした二年間は良い思い出として心にとどめておきたいと思えます。ADIOS (さようなら)

児童教育コース



准教授 春田 淳 一

温室不育棟梁材

ご卒業おめでとうございます。

児童教育コース三十六名の皆さんが、揃って卒業しそれぞれの進路での自己実現を目指している姿をうれしく思います。

皆さんは、北国・滝川の地で友と夢を語り、勉学に励み自らの進む道を目指して、寧ろ日ない努力を重ねてきました。皆さんには、教職を目指す学生であるが故に多くのことを課し、他の学生の模範となることを求めました。

小学校での三週間の教育実習を始め、学校ボランティアにも積極的に参加し「教えることは学ぶこと」を体感することができました。また、地域の方々の指導・支援をいただき稲作体験学習、カヌー体験、環境教室などの活動にも挑戦し、國短ならではの経験をする事ができました。

専攻科福祉専攻



准教授 西原 律 子

卒業、修了おめでとうございます。この一年間はあつという間に過ぎましたが、多くの人と関わり、人を理解する難しさの中から優しさや大切さを学び、成し遂げたときの達成感が、自信のある表情に変わり成長したことが伺えられます。

四月は新しいスタートを切る季節、別れの後には新たな出会いがあります。社会人として第一歩を踏み出し、皆さんのそれぞれの能力を発揮することで、今まで気づかなかった自分を知り、これから行く自分の道が開かれると思えます。また、今まで経験したことのない大きな壁を乗り越えなければならぬこともあるでしょう。そんな時は、立ち止まり考えて行動することを忘れず、また、自分なにかダメと思いつく、何だっかってできること、できないことがあると前を向き考えて自分らしく歩んでください。皆さんには未来があります。

今年度から専攻科は学生募集が中止となり、私にとって皆さんが最後の学生となりましたが、自信をもって社会に送りだしたいと思えます。これから皆さんが、社会で生き生きと活躍することを期待します。

二年間の短大生活を振り返ると、ただただあつという間でした。その短い時間の中で、多くの出会いがあり、様々な経験をjして充実した時間を過ごすことが出来たと思います。

私は、図書館司書の資格を取得するために、この大学に入りました。自分の学びたいことを狭く深く学べる環境は、毎日が充実していて楽しかったです。入学前は不安だった卒業論文も、ほかのゼミ生や教授のおかげで完成させることができました。

また、短大生活の大半が就職活動を占めていたなかで、キャリアセンターの方には、常に近くで支えていただきました。履歴書や自己PRの添削、面接練習



国文学科  
川辺 薫音

習など多岐にわたるサポートのおかげで、就職試験は自信をもって臨むことができました。キャリアセンターの方の支援なくして、第一希望の市役所から内定をいただくことはできなかった

と思います。この場を借り、心より感謝申し上げます。

そして、短大生活を送るなかで一番大きかったのが、友人の存在です。就職活動やほかに辛く苦しいことがあっても、励まし

入学当初の私の心境は後ろ向きでした。受験に失敗した自責の念、見知らぬ地に単身で移り住む不安もありました。しかし、今は違います。私は滝川での二年間で飛躍的に成長することが出来たと自負しています。だから、滝川で過ごした二年間に後悔はありません。

私は滝川で過ごす二年間で、新しいことに挑戦する力を身につけたと考えています。まず最初に、滝川は変化するのに最適な環境でした。なぜなら、過去の自分を知る人がいないからです。私はもともと怠惰な性格で、一年次にはそれを変えようと努力しました。そして、それを茶化す者は誰一人いませんでした。ここでできた仲間たちは、今の自分をありのままに受け入れて



総合教養学科  
清水 翔太

くれたのです。この環境が私に、今まで踏み出せなかった一歩を踏み出させてくれたと確信しています。

また、私は演劇部に所属し、二年次には部長として部をまとめました。ここで大事にしてい

たのも、新しいことに挑戦することです。今までしてこなかった合宿の実施や、江郎乙駅で開催される駅カフェにて行った公演がその最たる例です。ここで私は挫折や失敗をたくさん経験しました。しかし、だからこそ

# 新たな一歩 卒業生・修了生

支え続けてくれた友人には感謝しかありません。そういった存在に出会えたことだけでも、この大学に来て良かったと思えます。この学校は、ほかの大学と少し異なります。普通なら出会うはずのない人と出会う環境が、改めてすごいと思いました。四月から本学や他大学に編入する人、就職する人さまざまです。それぞれがまた新しい場所です。新しい出会いをし、素敵な人生を歩んでいくことを願っています。

私自身、四月からは社人としての自覚と責任をもち、さらに成長していきたいと思いま

緊張とともに迎えた入学式からもうすぐ二年が経とうとしています。短大での生活は自分自身を大きく成長させる貴重な時間でした。

私は地元での就職を希望しており、実家からも通える距離だったのでこの短大を選びました。初めは高校のクラスよりも少ない幼保コースの人数に驚きでしたが、今では少人数だからこ

今の自分が何ができるのか明確になりました。最後には、すべてを乗り越えた確かな満足を得ることができました。私は幸せに生きるための術をここで学びました。編入してからもその先も、この経験を忘れずに、常に新しく進化していきたいと思っています。

最後にこの感想文が目に残った方へ。このように、滝川には成長するチャンスがたくさんあります。大事なほどにいくかではなくどこで何をするか。滝川に来たことを前向きに考えて、ここでしかできない貴重な経験をいっぱいして、二年間を楽しんでほしいです。



幼児・児童教育学科  
幼保児育コース  
中村 樹奈

ことによって知識として終わるのではなく、自分自身の技術になりました。

実践では回数、回数を重ねるごとに講義で学んだ知識と技術がより磨かれ自らの力を発揮する

とともに、自分自身に足りない部分を知ることもできました。講義で完璧だったものも実際の現場では上手くいかず自らの考えの甘さや力不足に何度も悔しい思いをしましたが、それらを

私が國學院大學北海道短期大学の幼児・児童教育学科児童教育コースで学んだ二年間はこれからの私の人生に役立つ充実したものでした。

勉強面では、教授から教師を目指す上で大事な教養を教えてくださいました。元教師でいたからこそわかる小学校での実体験や採用試験での心構え、面接で大事になってくることなどを細かく教えてもらいそのおかげで北海道の採用試験では一次試験合格までできました。またテスト前には科目が多くて投げ出したくなかったが、同じ学科の仲間と一緒に勉強をすることで第一希望の



幼児・児童教育学科  
児童教育コース  
田 巖 慧

学科に編入するためにも今頑張ろうと励まし合うことができた。生活面では、入学して間もない頃は慣れない一人暮らしという環境だけで忙しく毎日を過ごすだけで疲れてしまっていた。だ

が少しずつ慣れていくにつれ友達や先輩と一緒にご飯を作ったり食べたり、部活動に励んだり徐々に充実させることができた。二年になってからは、北海道らしい景色を見たり経験を積みきた最大限に生かすことができた。

全てやる気に変えて努力を続けることの大切さに気づくことができました。

四月からは目標としていた地元の保育所での勤務が決まっており、期待と不安な気持ちで日々過ごしています。

いと思うようになった。春には滝川の菜の花畑。夏には富良野のラベンダー畑や美瑛の絶景、青い池。秋は登別温泉や地球岬。冬はたくさんさんのスキー場からの絶景、釧路湿原、冬の美瑛、知床の流水など北海道ならではの絶景をたくさん見ることができた。経験としては、小学校の放課後学習やNPOの活動のボランティア参加や小学生のサッカークラブでの指導などグロウアップ環境だからこそできることをして滝川に住んでいることを

私はこの北海道での二年間で得たたくさんの経験を編入してからの生活でも生かして人生を充実させていきたい。

今、振り返ってみると専攻科福祉専攻で過ごした一年間はとてもあっという間に過ぎていきま

専攻科福祉専攻は座学だけでなく、生徒同士で介助者や利用者になりきり介助を行うなどの



専攻科福祉専攻 鈴木成美

し合いまとめていくような演習の授業も多く、一人ひとりが自ら発言をするという力を身につけることができました。

この一年間ではたくさんの人に出会い、そして支えられました。友人や、先生方、介護実習先の職員の方や利用者さん、地域の方々などのおかげで充実した一年を過ごすことができました。

九年間専任教員として勤務させて戴きました。職員の皆様、地域の皆様そして学生の皆様には本当にお世話になりました。



国文学科 特別専任准教授 菅野逸一

「担当」という事で、専任教員生活が始まりました。私は主に、本学「史学科」編入希望者対策要員の役割を与えられましたので、史料の講読を中心に、学生と「信長公記」「続日本紀」等を読解しながら基礎力の付加に力を注いできました。

私は四十五年前北海道に戻って以来各地域に祀られている地神「馬頭観音」「庚申」等の民間信仰に関心を持ち、調査を続けています。滝川市にも幾体もの地神が祀られており、短大部に勤め出してから「江部乙十区地神」に縁を得て、何年も学生と一緒に地神祭(春・秋)とその準備に参加させて戴きました。

# 進学おめでとう

國學院大學編入合格者は、一五六名となり前年度より二七名増加、他大学への編入学合格者は一五名と九名増加となり、合計一七一名となりました。

短大部での学びを更に研究するべく進学する学生の皆さんに期待しています。

編入学・進学合格先は次のとおりです。

## 《國學院大學》

### 【文学部】

・日本文学科

国文学科二十二名、幼児・児童教育学科児童教育コース八名

・外国語文化学科

総合教養学科十三名、幼児・児童教育学科十三名

・史学科

総合教養学科十三名

・史学科

国文学科十六名、幼児・児童教育学科児童教育コース四名

### ・哲学科

総合教養学科十一名、国文学科一名、幼児・児童教育学科児童教育コース一名

### 【経済学部】

・経済学科

総合教養学科二十四名

総合ネットワーク学

総合教養学科十一名

・経営学科

総合教養学科十一名

【神道文化学部】

・神道文化学科

国文学科十四名、総合教養学科三名

【人間開発学部】

・初等教育学科

三名

【人間開発学部】

・初等教育学科

三名

【人間開発学部】

・初等教育学科

幼児・児童教育学科児童教育コース七名

### ・健康体育学科

幼児・児童教育学科児童教育コース七名

### 《他大学》

【相模女子大学：学芸学部日本文学科】一名

【酪農学園大学：農食環境学群循環農学類】一名

【駒澤女子大学：日本文化学科】一名

【駒澤大学：経済学部現代応用経済学】一名

# 退職者挨拶

平成三十年卒業生の皆様ご卒業おめでとうございます。

私事ですが、平成十四年四月にこの短期大学に着任して十七年間を過ごしましたが、この度三月には退任させていただきました。

私は、介護福祉士養成教育に携わる前は看護学校で教員をしており、入社してからは、介護福祉士の養成教育開始の教育を担当することができたため、看護教員が担当することになりました。

この間に、様々な経験ができました。素晴らしい経験をさせて頂けたと感謝しております。

教員として十分に努めを果たしてきたとは申しませんが、情熱を失わず続けてこられたのは学生の皆さんのおかげだと思っております。

学生達との思い出は、普通救命講習普及活動に参加し一時救命処置の手順を寸劇で披露したこと、認知症啓発イベントのRUNにも参加したこと、福祉施設の仕事にボランティアをさせて頂いたこと、滝川地区認知症の人と共に歩む家族の会「あけぼの会」さんの活動に参加したこと、ウィルチェアラグビーチームの北海道ビッグデイツパーズの方の



専攻科福祉専攻 教授 鍋澤信子

最後に、私には温かいご指導・ご助言をいただきましたことに、感謝いたします。

最後になりましたが、教職員の皆様には温かいご指導・ご助言をいただきましたことに、感謝いたします。

# 平成30年度就職状況！

就職希望者に対する内定率は八七・二％、昨年度同時期と比べて一・五％上回っている。三月十日現在での就職先は先のとおり。

## ☆就職先一覧☆

- ・公務員
- ・滝川市役所
- ・士別市役所
- 【学校教諭・事務】
- ・北海道教育委員会（教諭）
- ・名寄市東小学校（臨時教員）
- ・芦別市 小学校（臨時教諭）
- ・長沼南小学校学校事務（臨時職員）

## ☆一般企業

- ・北門信用金庫
- ・東洋ワーク株式会社 二名
- ・株式会社インターネットブレイン
- ・株式会社セクト
- ・株式会社二葉屋
- ・株式会社城山
- ・株式会社こまつ書店
- ・株式会社いたがき
- ・株式会社エー・エル・ピー
- ・株式会社菱友
- ・エリアワンエンタープライズ(株)
- ・北いぶき農業協同組合
- ・元気寿司株式会社

## ☆専門職

- ・(福)滝川市社会福祉事業団 二名
- ・砂川市役所（保育士）
- ・留寿都村役場（保育士）
- ・(学)旭川カトリック学園
- ・美唄アカシヤ幼稚園
- ・(学)清瀬幼稚園きよせ幼稚園
- ・深川めぐみ幼稚園
- ・学校法人北海道ルーテル学園
- ・(福)札幌会月形町認定こども園
- ・花の里こども園

## 就活合宿

今年も三月七・八日に本学と拓殖大学北海道短期大学の合同で就活合宿が滝川市内で行われました。

今回の就活合宿は、両大学のキャリア担当者が独自に内容を検討しました。

初日には、会場をふれあいの里にて、講義を中心に『ガイダンス、就職活動の流れ、就活の身だしなみ・マナー、グループディスカッション、自己PR』学生時代に力を入れたことの作成』が初日に行われました。夜には、互いの学生が交流を深め



身だしなみ・マナー講座

るため、料理作りや懇親会などが行われました。

二日目は会場を本学に移し「キャリアについて講義、企業説明会、面接の練習」などを行い最後に就活合宿を振り返り終了となりました。

今回は、昨年度までとは違い学内での合同企業説明会を開催するなど、地域企業の方への指導を仰ぎ、実際の現場の声を聞かせて頂くなど、学生達にとっても刺激あるものとなりました。これからの本格的に始まる就職活動へ期待が高められる合宿となりました。



合同企業説明会

皆様ご卒業おめでとうございます。平成三十二年に開設しました専攻科福祉専攻は、今年度学生募集中止となりましたことは感慨深く感じます。私にとって初めての就職で、「介護」という分野を若い学生達にどのように教え伝えることができるかを、日々悩みながら過ごしていたことを思い出します。しかし、「誰もが好んで障害を負ったわけではない。たとえ介護が必要になったとしても、自分らしく生活することを望んでいる。その人の立場になって考えてみる。人とのかわりの中で、感動や人の大切さを

皆様が卒業おめでとうございます。平成三十二年に開設しました専攻科福祉専攻は、今年度学生募集中止となりましたことは感慨深く感じます。私にとって初めての就職で、「介護」という分野を若い学生達にどのように教え伝えることができるかを、日々悩みながら過ごしていたことを思い出します。しかし、「誰もが好んで障害を負ったわけではない。たとえ介護が必要になったとしても、自分らしく生活することを望んでいる。その人の立場になって考えてみる。人とのかわりの中で、感動や人の大切さを



専攻科福祉専攻 准教授 西原 律子

学ぶことができる」と信じて教えることができました。そして、学生と共に学び得たことは多く介護教育に携わることができたことに感謝します。また、この十九年間で卒業した

多くの学生が、現在福祉業界で活躍していることを誇りに思います。少子・高齢化社会など我が国は、大きな課題に直面し、社会福祉のあり方も大きく変わっています。こうした状況のなかで、介護を必要とする人の生活を支える専門

## 退職者挨拶

卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。市役所職員、福祉現場での奮闘を経て、平成二十六年より本学の幼児教育コース講師として授業を持っておりましたことから、平成三十二年度一

年間ではありましたが福祉専攻教員として介護福祉教育に携わることができましたことに感謝申し上げます。



専攻科福祉専攻 特別専任教員 青木 優博

この一年間、介護について、誰のため、どうやって、何のため？を深く考え、そして介護実習の体験や実践をとおしてさまざまな学びと努力により成果が得られることができました。

「つながりの回復」はもとより、それとおした利用者一人ひとりが「有意義な人生を築いていく」ことにあるはずで、四月からは、現場で利用者と向き合うこととなります。辛いこともありますが、志が高く持ち、是非ともその職場にとって欠くべからざる人材となっていたきたいと願っております。

専攻科福祉専攻 本学合計二二八名 三名

れ、介護の在り方の輪郭も見えてきたという凝縮された一年間であったと思います。よく「その人の生きる価値は、出会った人で決まる。」といわれます。介護の目指すところは、奮闘をお祈りいたします。最後にいただきましたが、ご指導・ご助言いただきました教職員の皆様、心から感謝とお礼を申し上げます。

専攻科福祉専攻 本学合計二二八名 三名

## 退職者挨拶

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

北の大地、北海道滝川で過ごした二年間はとうでしたでしょうか。大学で学び知識を身につけたこと、

新しい友と出合い語り合ったことなど、胸いっぱい青春の思い出が沢山あることでしょうか。

この二年間を糧に、これからの人生をたくましく送って下さい。

私もこの三月で三十四年間過ごした大学を卒業します。もともと國學院大學を卒業し、司書



事務局総務課  
コミュニティカレッジセンター  
主幹 高橋 由彦

として古文書や和本の整理などをしてきた関係からこの大学の事務職員として勤務することになり、また平成五年からは講師

大学の役割は、学生に教養や専門知識を身につけさせること、はもちろんのことですが、一番大事なことは「これからの長い人生を生き抜く力

身につけさせることだ」と考えています。そのお手伝いを微力ながらできたことも、幸せなことだと思います。

皆さんのこれからの人生に、幸多からんことを祈念していただきます。

## 二年連続の寒中禊を行って

国文学科 大久保 宏 優

北海道神宮で行われる寒中禊に二年連続で参加させていただきました。正直な気持ちとしては、「今年は参加することはないだろう」と思っていました。なぜなら、去年の寒中禊の後にインフルエンザにかかってしまい大変だったからです。しかし、北海道神宮で二年連続寒中禊を行うことは誰でもできる経験ではなく、「参加したい」という気持ちが大きくなり参加を決めました。

寒中禊は声を出し体を動かした後、水に身をまかせ、声を出し体を動かして終わるといのが大まかな流れです。声を出し体を動かすことで体が温まり、寒さから身を守る方法です。このことを去年の経験から知っているのか、かけ声の練習から力強く行いました。

水を被った時、去年の記憶が思い浮かびました。それは、今年のように笑顔で水を被っていた記憶です。寒中禊は行っている時の爽快感と終わった後の達成感はなくも体験できるものではないと思います。



北海道神宮で寒中禊を行えることは、人生で一度あるかないかのことで、それを二年連続で参加させて頂けてとても嬉しかったです。皆さんも、寒中禊に参加してみると一生の思い出になりますよ。

## 新年度学長人事

平成三十一年三月三十一日を以って、二期七周年にわたり学長を務められた田村弘学長が退任されます。

新学長には、昭和五十七年の開学当初から本学で教鞭をとられていた、総合教養学科平野泰樹教授の就任が決まりました。法学が専門の平野教授は、平成十二年に法学で博士号を取得、授業では少年法・少年保護に関

する科目並びに刑法を中心に指導されています。新元号となる二〇一九年度に就任され、歴代学長の教えを踏襲し、開学四十周年に向け短大部の更なるステップアップを目指します。

## 校舎一Fリニューアル

昨年十月より行われていた校舎の改修工事が一月下旬に完了した。

工事の内容は、  
①正面玄関・学生玄関の改修工事  
②正面玄関の張替えと内・外扉の取り換え内扉を自動ドア及びスロープの設置



③一階廊下トイレの改修工事  
④一階トイレの改修及び男子女性用トイレの改修工事  
⑤トイレを新たに設置  
⑥トイレの改修工事  
⑦二・三・四階女子トイレの改修及びサークル棟・体育館トイレの改修

を行いました。玄関階段タイル及び一階廊下のタイルを張替え、より明るいイメージとなりました。

学生玄関ホールにはカウンター・椅子を配置し、ミーティングや学生の憩いのスペースと活用できます。

一階の女子トイレをリニューアル・拡張しより利用しやすくなりました。



一階の学生ホール(学生食堂)は市民の方も多く訪れる場所です。また、トイレ・化粧室等は多くの方が利用する場所です。清潔で明るくなった短大部には是非お越しください。

